

筑波大学新聞 第303号

雑誌名	筑波大学新聞
号	303
発行年	2012-10-22
URL	http://hdl.handle.net/2241/00123371

筑波大学新聞

第303号

編集責任 筑波大学新聞
編集代表 福岡直樹
TEL: 029(853)2040・6699
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

グローバル人材育成事業
オリエンタリング 本学キャンパスで初開催
柔道・全日本ジュニア 永瀬、小寺が優勝
女子陸上 総合4連覇・駅伝で大会新
院生プレゼンバトル 自身の研究を語る
第38回学園祭 テーマは「筑波協奏」
11月10日 9時 8時 5時 2時

ミニ特集

3 文科省の採択を受ける
2 本学キャンパスで初開催
1 永瀬、小寺が優勝
0 総合4連覇・駅伝で大会新
9 自身の研究を語る
8 テーマは「筑波協奏」
7 図書を支える人
6,7 特集
5 移行直前
4 2学期制の全容に迫る

ロンドンパラリンピック 本学関係者活躍する



義足のアスリート
鈴木徹さん

選手と指導者2つの面

「世界で3番目と4番目に挑戦したい」と鈴木さんはロンドンパラリンピックでは全然違う。再度メダルに挑みたいという鈴木さん。結果について語る。

2012ロンドンパラリンピックが8月29日から9月9日まで開かれ、競泳女子100メートル背泳ぎの秋山里奈さん(平成17年度附属盲学校高等部卒)が金メダルを獲得するなど、本学関係者が活躍した。本紙では、本学の現役生・卒業生、鈴木徹さん(平成15年度体育専門学群卒)と走り高跳び、4×100メートルリレーで4位に入賞した山田拓朗さん(体専3年)と競泳男子50メートル自由形で4位に入賞の2人にインタビューした。山田さんは開会式で旗手の木村敬一さん(平成20年度附属視覚特別支援学校卒)のサポート役を務めた。(12面「Who's Who」に山田さんの記事)

ボール部に所属。体育専門学群に推薦入試で合格するなど、将来を嘱望された。しかし高校の卒業式の1週間前、自動車運転中に大きな事故を起こした。車体とガードレールにはさまれ、右足から骨が飛び出た。治療もむなしく、卒業式の翌日に右足を失った。

当時を振り返り、鈴木さんは「それほどショックには感じなかった」と話す。「右足を失ったのに大学からは入学を取り消されなかった。大学の先輩からは『いつ来るんだ』と連絡があった。競技者として戻る道しかないと思った」

また、ハンドボールをもう一度するためにハビリリを始めた。陸上もその一環だったが、着々と実力を付け、わずか3カ月でシドニーパラリンピックの走り高跳びに出場。「運よく行けてしまった大会。また早かったと思う」と語る。

アテネ、北京パラリンピックも走り高跳びで出場し、メダルを狙ったが届かなかった。けがをしていた左ひざを手術し、万全の状態での臨んだロンドンパラリンピックも4位に終わった。「4度出場し、メダルを取れなかった。リオパラリンピックではメダルを取りたい」と語る。

ハンドボールの指導者としても活躍する。2009年に知人の誘いで駿河台大男子ハンドボール部監督に就任し、今年10月14日に2部昇格を決めた。「2部で2位以内に入れば1部昇格インカレ出場が狙える。達成して、筑波大と対戦したい」と話す。(二宮健太「社会学類」)

敗血症の発症制御たんぱく質を発見 予防・治療への応用に期待

渋谷彰教授ら研究チーム

細菌感染が原因で発症する敗血症について、発症をコントロールするたんぱく質を発見したと、渋谷彰教授(医学医療系)らの研究チームが7月に公表した。死亡率が非常に高く、世界中で年間100万人以上が死に達する敗血症の予防と治療につながる成果として注目されている。

白血球は免疫細胞(肥満細胞)によって集められ、細菌を死滅させるが、研究チームは免疫細胞の表面にあるたんぱく質「MAIR-1」に注目。このたんぱく質が、逆に免疫細胞の働きを抑制する性質があることを、マウスを用いた実験によって突き止めた。

同チームによると、腹膜炎による敗血症を発症させたマウスに「MAIR-1」

「1」の働きを抑える抗体を投与すると、3日後の生存率は投与しないマウスに比べて大幅に上昇した。今後、人間への応用が期待されている。

渋谷教授は「死亡率が数%下がるだけでも数万人の命が救える。これから研究を続けて患者さんを一人でも多く救いたい」と今後の抱負を語った。

行方市との連携事業 本学技術で農業振興

本学と茨城県行方市は、10月3日、「農業・食と健康の共同研究に関する連携協定」を締結した。同市は、

「健康」をテーマに生命環境系と協力し、市内で生産する野菜でメニューを作る。このため、今回の協定

行方市は60〜70品目の野菜を作る全国有数の農業地域で、人口の約40%が農業に従事している。だが高齢者の割合が高く、医療費がかさむなどの問題を抱えている。このため、今回の協定

同市はこれまで、農林水産業(第一次産業)の従事者が、加工(第二次産業)や流通・販売(第三次産業)

も行う、いわゆる「六次産業化」の推進に取り組んできた。行方市秘書広聴グループの森作保繁係長は、「行方市では農業と健康を合わせた事業の実現を検討していたが、(今後は)筑波大学の技術を活用し、市民の健康を増進させ、六次産業の推進を進めていきたい」と話している。当面、3年間連携協定を結び、その後双方から協定の改廃の申し入れがない場合は1年ごとに更新される。

今年のテーマは「筑波協奏」という土地に関わる全ての人々

油を生む藻類 実用化に向け実証実験 耕作放棄地を有効活用

渡邊信教授(生環系)による農地を利用した藻類バイオマスエネルギー実用化に関する実証実験が、10月からつくば市栗原地区の農地で開始された。同プロジェクトは、昨年12月に国から認可を受けた「つくば

6、7日はあいにくの雨。雨天時は屋外の多くの模範店が運営中止を余儀なくされた。野外ステージでの企画は、一部時間や場所を空けての実施となった。最終日の8日は一転して晴天に恵まれ、3日間で約3万人の来場者が訪れた。

多くの模範店がベテス・トリアンデッキを中心に軒を連ねた。全国各地の名物を出店する県人会や、留学生が世界各地の料理を振る舞う留学生名店街には普段は味わえない料理が並び、訪れた来場者が長蛇の列を作った。

今年のテーマは「筑波協奏」という土地に関わる全ての人々

2012
学園祭

雨天にも関わらず大盛況 約3万人が来場

が、和音を奏でるように双峰祭で魅力発信してほしい、という願いが込められている。そのテーマにふさわしく、笑い声

が、歓声が、学園祭というステージで美しいハーモニーを奏でた3日間となった。(関連記事は9・10・11面)



後夜祭でパフォーマンスを魅せる応援部WINS

が、歓声が、学園祭というステージで美しいハーモニーを奏でた3日間となった。(関連記事は9・10・11面)

が、歓声が、学園祭というステージで美しいハーモニーを奏でた3日間となった。(関連記事は9・10・11面)

筑波びり

学園祭中、人間系学系棟前に留学生の模範店が並び、フォード・ドイッ風ソーセージ……。エスニックな雰囲気の中で、ふと学生宿舎時代のある出来事を思い出した▼同じ階に住んでいたバン格拉ディッシュからの留学生のことだ。ほとんど話す機会は無かったが、冬のある日、共同調理室でカレーを作る彼と出会った。おいに調理され、思わず声をかけた。「一口いただませんか」▼食べた後、彼の話を聞いた。日本に憧れ来日したこと。だが日本人学生と交流が無いこと。帰国の日が近いこと。もっと日本の学生と話したかったな。彼の言葉が胸に残る▼昨年度の本学の学生実態調査には「日本人学生のグループには留学生が入れない雰囲気がある」などの意見が寄せられた。私達は留学生との間に知らぬ間に「壁」を作っているのではないだろうか。一方、留学生側はどうか。学内で留学生グループをよく見る。母国語で話す様子は楽しげだが、その中に日本人学生がいるケースは少ない。彼らも無意識に「壁」を作っているのだろうか▼本学の留学生総数は5月1日時点で1681人。留学生を受け入れるだけでなく、日本人学生と留学生それぞれの持ち味が、カレーの香辛料のようにうまくブレンドされるのが理想だ。そのためにまずは声をかけ、壁を壊そう。きっかけは何でもいい。

グローバル人材育成事業

国際的なキャンパスを目指す

学士・修士の一貫教育へ

文部科学省が実施する「グローバル人材育成推進事業（特色型）」に本学が申請していた「ローカル最適なグローバル人材育成・地域研究イノベーション学位プログラム」が9月24日、承認された。

「グローバル人材育成推進事業」は、グローバル化を目的とした体制整備を推進する大学に対して、最大5年間の財政支援を行うもの。日本人学生が世界で活躍するための力を養うことを目的としている。対象は全国の国公私立大学で、今回採択されたのは42校。

本学が申請していた同プログラムは学士課程と修士課程を一貫した教育プログラムだ。そのため学類生でも大学院科目の履修が可能になる。同プログラムでは学士課程の3年次から留

子どもの「ウソ」を論じる

子育てに関する質問も

教育学、心理学、障害科学の第1線で活躍する研究者を招いて行われるセミナー、筑波大学人間系コアキアムが、9月26日に総合研究棟A110で行われた。主催は筑波大学人間系研究戦略委員会。学際的研究の推進を目的に今年度か

ら企画され、年6回程度の開催を予定している。2回目となる今回は発達心理学、認知心理学などを専門とする本学の内田伸子監事が「子どものウソは嘘か？記憶・想像、そして語りのメカニズム」をテーマに講義を行った。学

内外から100人近くの参加者が来場し、会場はほぼ満席となった。時には笑い声が漏れ、講義は終始和やかな雰囲気であった。同監事は、まず想像力の発達について説明。そして、意図的で悪意のある偽りを「嘘」と表現した。一方で意図的ではない偽りを「ウソ」と表現し、子どもの「ウソ」は「嘘」ではないと結論付けた。

常木教授ら研究チーム

イランで発掘調査を開始

人類拡散ルートの解明へ

常木晃教授（人文系）ら本学の研究グループが、昨年11月から、イラン南部アルサンジャンの洞窟遺跡で「人類の起源を探ること」を目的に発掘調査を進めている。

従来、アフリカを起源とする現在の人類は、シナイ半島（エジプト）レユーラシア大陸という「北回りルート」で同大陸に進出したと考えられていた。だが近年、このルートではなく、アフリカと紅海とアラビア半島とイラン南部とい

う「南回りルート」で進出し、そこからユーラシア大陸の東西に拡散。現在の人類につながったとされる新仮説が注目されている。発掘では、この新仮説の検証が期待されている。

イラン政府は長年調査を許可していなかったが、常木教授ら本学の研究グループはイラン政府から正式に許可を得ることに成功。イラン政府と共同で、アルサンジャンの中期旧石器時代の遺跡の調査を始め、これまで3回の発掘を行った。



イランでの発掘調査の様子

新仮説の証明には、7、8万年前「南回りルート」で進出したグループがここで居住していたことを証明することが必要で、人骨の発見が鍵。また、そこで発見される石器が、アフリカ起源の特徴を有していることも必要になっている。

今回の調査では、水飲み場遺構などの高度な土木工事の跡なども検出している。

の構築に期待が高まっている。

今までは就職活動や卒業時期に遅れがでることを懸念し、留学や修士課程入学に積極的ではない学生もいたが、このプログラムでは5年間で早期修了も視野に入れており、従来の学生の懸念が解消されることも期待されている。なお、1期生の選抜は来年度末から行うという。

大正時代の店蔵を補修し案内所に

本学教授や学生団体も協力

今年5月に竜巻の被害を受けたつくば市北条で、9月29日、観光案内所「北条ふれあい館」がリニューアルオープンした。本学の安藤邦廣教授（芸術系）が補強工事に携わったり、同地

区で活動を行っている学生団体「筑波山麓地域づくり研究会（通称チームごじゃっぺ）」が清掃や準備を行うなどし、約5カ月ぶりに営業再開となった。

同地区は今年5月に発生した竜巻により甚大な被害を受けた。商店街にあった旧案内所も全壊し、取り壊しとなった。そのため新たな観光案内所として、大正時代末期に建築された元呉服店の「田村家店蔵」が利用されることになった。竜

巻により瓦や窓ガラスが飛び散り、建物が傾くなどの被害を受けたが、安藤教授率いるプロジェクトチームの調査などにより、屋根に補修を加えれば使用できることが判明。復旧工事などを進め、29日のオープンの日を迎えた。

案内所を運営する北条街づくり振興会の会長、坂入英幸さんは「安藤教授や学

生たちの協力でふれあい館を再開できた。これから行われるイベントでは、北条の人びとの笑顔を皆さんに見せたい」と語った。

ふれあい館は観光案内所として、同地区の案内パンフレットの配布や、地元ブランド米「北条米」などの

を締めくくった。質疑応答では、参加者から、しつけや子育てなどについてさまざまな質問が飛び交った。内田監事も自身の経験などを踏まえ、熱心に答えた。

講義後には総合研究棟A107で交流会が開かれ、参加者は内田監事と会話を楽しんだ。また、参加者同士が話し合う姿も見られた。

内田監事は「学際的研究は学生や院生にとっても大事。この講義は市民の方々に對しても開かれているので、専門的な知識を伝えていきたい」と語った。

また、幼少期のしつけ方と子どもの学力との関係についても論じ、「幼少期に親が子どもの主体性を大事にした関わり方をしているかが大切」と述べ、講義

チーム「ニッポン」マルチサポート事業

競技力の向上を支援

科学的に研究開発を行う

「チーム「ニッポン」マルチサポート事業」の研究開発プロジェクトの活動概要と経過報告の記者会見が、9月19日に本学東京キャンパス文京校舎で行われた。

このプロジェクトは文部科学省が、日本国内の競技者やコーチの要望に応え、競技力向上を支援していくことを目的に、2010年

に始まった。競技器具の選定やトレーニング方法などの課題を、日本の高い分析技術力を駆使し、科学的な検証に基づき研究開発を行う。報告では藤井範久教授（体育系）、吉田孝久研究員、宮川俊平教授（体育系）、木留毅専修大学准教授が、自身の研究を発表した。

宮川教授は、選手の体調管理に役立つと期待され

農産物、北条米を原料に用いた「北条米スクリーム」などの物産品販売などを行っている。開館日は土日、祝日の10時～16時。問い合わせ先は <http://www.tsukuba-hojo.jp>

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

北条地区では、11月3～4日にかけて「秋の北条市」が開催される。案内所の開放のほか、同地区の史跡や文化財をめぐる「秋の北条歴史探訪」などさまざまな催しが行われる予定。

MC展

人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻で洋画・日本画・版画を学ぶ学生による作品展「MC展」が、12月6（木）～11日（火）に茨城県つくば美術館（つくば市吾妻）で開催される。

入場は無料。開催時間は9時30分から17時まで（最終日は14時）。お問い合わせは茨城県つくば美術館 029-856-3711

筑誕

2013年に本学が開学40周年を迎えることを受け、筑波大学40周年記念「レイイベント」、「筑誕（つくたん）」が11月3日（土）、THK筑波放送協会と本学の共催で開催される。

学内サークルによるパフォーマンスや、THKによる企画「学内の「すごい人」紹介企画」が行われる。入場は無料。14時開演、会場は大学会館講堂。問い合わせ先は tkb40th@hkwweb.info

元本学講師 大島美穂さん講演

元本学講師の大島美穂さん（現在津田塾大学文学部国際関係学科教授）の講演が11月25日（日）にホテルグランド東雲（つくば市小野崎）で行われる。「北極海の油田開発と国際政治・環境・資源・地域」をテーマに津田塾大学同窓会茨城支部が開く公開講座。

参加費は300円。13時30分から15時まで。参加には事前申込みが必要で、申込みは11月20日まで。申し込み・問い合わせは津田塾大学同窓会茨城支部 FAX 0267-57-0049、メール tsuda_ibaraki_secretariat@yahoo.co.jp

がロボットを通して海外の空気に触れることで、英語は楽しいということも知ってもらえればうれしい。ゆくゆくは子供たちが実際に海外に足を運んでくれると話をした。

山田信博学長

順調な回復見せる
山田信博学長は8月6日に脳梗塞で倒れ、都内の病院に緊急入院した。現在、回復に向けてリハビリを行っている。

附属図書館特集

図書館を支えるひと

職員

普段何気なく使っている附属図書館。そこで受けられるサービスは主に、職員、ボランティア、大学院生の手によって提供されている。彼らは普段どんな仕事をしているのだろうか。図書館のサービスを支える人々を紹介する。(中島佳奈Ⅱ文学類、原啓一郎、平嶋健人Ⅱ社会学類、倉沢美紀Ⅱ国際総合学類)

私たち利用者はカウンターで対応する職員と関わることが多いが、それ以外にもたくさん職員が図書館の運営に携わっている。その中でも古典資料担当、選書担当、電子図書館担当それぞれの仕事の様子をのぞいてみた。

古典資料担当

古典資料の管理に携わっている山中真代さん(情報管理課)に話を聞いた。本学の図書館には、所蔵されている中で最も古い、奈良時代の「大智度論」を始め、貴重書が約9000冊、和装古書が約17万冊ある。その古典資料の整備・保存、電子化、展示企画の運営を行うのが古典資料担当の仕事だ。

電子図書館担当

電子図書館と聞くと昨今話題の電子書籍を連想してしまうが、電子書籍の提供が業務ではない。電子図書館業務を担当する平田さん(情報管理課)によると、担当職員の主な仕事はウェブページ「筑波大学電子図書館システムTULIPS」の管理や、館内のパソコンの整備などだ。ネット環境の整備が多いが、「文系の人間(自分)

大きく関わる。カビが生えにくい、湿度20度前後、湿度55%前後に書庫内を保ち、中に虫が入らないように注意することや資料の劣化を防いでいる。しかし設備が古いため、急な停電で空調が止まることもしばしばあり、苦労は絶えない。5月に起きた竜巻による全学停電のときも空調が止まったが、貴重書庫は外気の影響を受けにくい場所にあり、資料は無事だったという。

古い資料を次へ伝える

だが、ただ大事にしまっ



古典資料の確認作業を行う山中さん

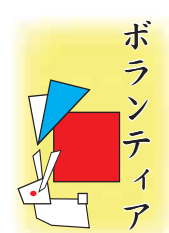
ただでなく、画像データとして利用できる電子化を進め、公開展示も行う。「長い歴史を持つ受け継がれている資料を、次世代も利用できるような状態にしたい」。現在開催中の附属図書館特別展「明治時代に礼法はいかにして伝えられたか」(10月末まで開催)も古典資料担当が企画したものだ。山中さんは今回の特別展は親しみやすく、興味深いテーマ。ぜひ足を運んでもらいたい」と学生に呼びかける。

選書担当

選書を担当している高島恵美子さん(情報管理課)は図書館に新しく並ぶ図書を選ぶという、学生の学習

研究にも大きく影響する仕事をしている。選書担当の職員は、新刊学術図書の選書を主にこなしている。人文科学、社会科学、自然科学など各分野ごとに班分けをし、それぞれで購入する図書を決める。基準は「1年以内に出版された図書で、学生の学習・研究に役立つもの」。各班で出版情報

わる機会も少なく、意見も「苦情」というかたちで届けられないことも苦労の一つだ。現在、学生のニーズに



ボランティア

本学は1992年、国立大学図書館として初めて図書館ボランティアの導入を決定。95年に「筑波大学附属図書館ボランティア」が発足した。その活動について、発足時から17年間活動に携わる大森久美子さんに話を聞いた。



特別展の内容について説明する大森さん

国では緑色だという留学生がいた。折り紙を教えるから、自分も文化の違いを教えてもらうことができる」と大森さん。折り紙やちりめん細工の作品はボランティアアカウンターなどに華を添えている。司書の資格を活かしたいと思い、ボランティアの活動を始めた大森さんは「好きな本に囲まれて活動できる環境はとても恵まれている」と話す。

学生目線の選書を

高島さんは学生に対して「職員も頑張っている。本を全て読むことはできないため、著者や出版社、目次、前書き、後書きなどを

ボランティアの主な活動は▽図書館の利用案内▽書架の整理▽視覚障害のある利用者への対面朗読……。本の場所が分からない利用者と一緒に本を探しに行くなど、きめ細かなサービスを提供できているのがボランティアの特徴。「気軽に聞けると

きめ細かなサービスを提供

とはいかがだろうか。

大学院生

自分の経験を活かしサポート

昨年9月から中央図書館本館2階に設けられた学習支援スペース「ラーニング・スクエア」。レポートや論文の書き方に関する図書を集めた書棚や、学生の成果展示などを行う企画展示スペースなどがある。大学院生がパソコンの使い方や論文検索の方法など、さま



留学生にパソコンの使い方を教える佐藤さん

さまざまな学習相談に対応する「ラーニング・アドバイザー」「学生サポートデスク」を務めている佐藤良太さん(リスク3年)に話を聞いた。デスクを訪れる利用者の質問は、文献検索の方法や図書館の使い方、レポートの書き方や進路相談など多岐に渡る。また、すでに全学計算機システムのパソコンが置かれているため、パソコンの使い方に関する質問も多い。佐藤さんは「進路やレポートの書き方に関する質問は、自分自身の経験を元に学生にアドバイスできる」と話す。学生サポートデスクは17時以降も対応しているため、長時間、利用者の活動が支援できるようになった。佐藤さんがこの仕事を始めたのは半年前。図書館の魅力を裏側からも見たい、図書館をもっと深く知りたいと思ったことが仕事を始めるきっかけだった。「デスクに来た学生の疑問を一緒に考えていた時に、彼らの役に立っているんだと実感する。(学生たちの)ホッとした表情を見ているときに、この仕事をやっていてよかったと感じる」と佐藤さん。留学生が訪れることもあり、「英語は苦手だけれど、何とか対応して、彼らの不安を解消している」とのことだ。ラーニング・アドバイザーは佐藤さんを合わせて6人。それぞれの専門分野は理系から文系まで幅広く、誰もが学生からの声を待っている。

図書館を支える「裏方」

がパソコンを扱う理系の仕事を、苦勞しながらやっている感」という。ウェブ関連の仕事以外にも、本学の博士論文や貴重書を電子化するという業務がある。貴重書の電子化は外部の業者に委託しているが、博士論文の電子化はほぼ手作業。論文を一枚一枚スキャナーで読み取っていない存在だ。そんな縁の下で力持

ある、平田さんがやりがいを感じるのには学生に感謝されることだという。『筑波大の図書館サービスいいよね』とか「検索処理が速くなったよね」なんて言ってもらえると嬉しいですね。また、平田さんが最も望むことは利用者が増えることだ。「一番いいことは学生のみなさんに気軽に図書館に来てもらって、使っ

それを知ること、図書館を見る目も変わるかも知れない。

の狭間で葛藤する。二トリズムを持ち合わせ、自分の弱さを自覚し、人生という実体のない影におびえる。しかし、そういった多面性こそが、彼女自身が日記に記している『人間は不合理な存在である』ことの証であり、だからこそ共感せずにいられなかったのだと思える。自らの信念と正義を貫こうとする著者の姿勢は、今の自分の生き様を形成するのに貢献していた、あるいは、似ている部分があったからこそ共鳴したのだと、今回この記事を書くにあたって読み返してみても感じた次第である。(新潮文庫 452円)

(人社系 准教授)

カリキュラム、行事……。どう変わる？

学生

■学生の声

一般の学生から話を聞いた。

賛成論では「休みが他大と一致するようになり、

他大学の学生とも今まで以上に交流できる」、「9 月上旬のインターンシップに参加できるような

なる」などの声があった。また

期待と困惑の声

また、カリキュラム案がクラス代表者

「C モジュールを有効に活用して、今までは一風変わった講義を実施してほしい」と新しい取り組みを期待する声もある。

一方で「来年卒業するので、単位の振り替えがしっ

かりされるかわからない」といった履修や卒業に関する不安も多く聞こ

えられた。

ヒッグス粒子は 1964 年、英のピーター・ヒッグス博士に存在が予想されていたが、「発見」までの道のりは長かった。

物質の基本的な構成要素である原子は、原子核と電子で構成されている。さらに原子核は陽子と中性子で分類されるが、高エネルギーで加速した陽子同士を衝突させれば、陽子を作る素粒子の衝突から、理論上ヒッグス粒子が飛び出すとされる。

そこで登場したのが CERN の加速器だ。スイ

ス・フランス国境の地下に、半径 4.3 キロ、長さ 27 キロのトンネル（ほぼ東京の山手線の規模を掘り、そこに加速器を設置。高速に近いスピードで衝突を行う実験を 2009 年から始めた。

このヒッグス探索隊に加わったグループの一つが ATLAS チームだ。世界 38 カ国 176 研究機関から構成されており、同教授など日本チームが所属していたのがこの ATLAS だった。今回の新粒子発見の実験結果の正確さは、99.9999% 以上だ。約半世紀の時をかけて、ヒ

ッグス粒子

日進月歩の物理学研究

質量の起源の粒子発見か

ヒッグス粒子

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

教員

■全代会の取り組み

「必修科目の単位を落とす」という。2 学期制移行のため来年度以降の時間割が変わり、複数の必修科目が同時に行われてしまったら卒業にも関わる。配慮されるのか」といった 2 学期制移行に伴う変更を危惧する学生もいた。

また「2 学期制になることは仕方ないが、説明会などの対応が遅かったと思

う。学生の視点で足りないのは、単位制に移行するにあたって、2 学期制に期待する声がある一方で、履修や卒業に関する不安も多く聞こ

えられた。

ヒッグス粒子は 1964 年、英のピーター・ヒッグス博士に存在が予想されていたが、「発見」までの道のりは長かった。

物質の基本的な構成要素である原子は、原子核と電子で構成されている。さらに原子核は陽子と中性子で分類されるが、高エネルギーで加速した陽子同士を衝突させれば、陽子を作る素粒子の衝突から、理論上ヒッグス粒子が飛び出すとされる。

そこで登場したのが CERN の加速器だ。スイ

ス・フランス国境の地下に、半径 4.3 キロ、長さ 27 キロのトンネル（ほぼ東京の山手線の規模を掘り、そこに加速器を設置。高速に近いスピードで衝突を行う実験を 2009 年から始めた。

このヒッグス探索隊に加わったグループの一つが ATLAS チームだ。世界 38 カ国 176 研究機関から構成されており、同教授など日本チームが所属していたのがこの ATLAS だった。今回の新粒子発見の実験結果の正確さは、99.9999% 以上だ。約半世紀の時をかけて、ヒ

ッグス粒子

日進月歩の物理学研究

質量の起源の粒子発見か

ヒッグス粒子

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

質量の起源の粒子発見か

「いずれにせよまずは勉強」



2 学期制移行について話す平賀教授

本学の 2 学期制は大きく違う。本学の 2 学期制は独特の 2 学期制になるという。今回、2 学期制になることが気になる。秋入学のことが気になる」と語る。また今回の 2 学期制のように 6 つのモジュールに分かれては、1 年間で 12 単位を履修する必要がある。一方、2 学期制になることで、他大学の大学と休みの時期は勉強してほしい」と語った。

視点

■本紙ではじめて来年度の 2 学期制移行を報じたのは 2011 年 4 月。それから 1 年半が過ぎたが、やっとその全容が見えてきたが、課題は多い。

学類によってはクラ

が検証しようにも、情報

が手に入らない様子だ。

12 月ごろをめどに各学類でも説明会が行われるというが、説明が遅すぎるのではない。

取材中出会った教員の「大学は 4 年先の時間割まで全公開すべき」という批判が思い出される。

自らが学びたいという学生の熱意と、学位の標準化をはかりたい社会との摩擦が、2 学期制を機に露呈したのかもしれない。

学と地球物理の出身もいます。さすがにこれは珍しいケースですけれど。

つまり、広界界の人材はなんでもあり、学歴を問わず、といったところがあります。サントリーに就職できたのは、当時コピーライター専門職の採用があったからです。

大学では日本文学を専攻卒業論は万葉集でした。コピーライターはことばの仕事ですが、文学専攻が多いかというところでもありません。昨年からの集中講義「創造学群表

現学類」で講師をしていて、後輩、みなさんにとっての先輩には、数

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

筑波大学自然図鑑

■オスの顔面は成熟すると青白みを帯び、それが舞妓さんの姿を彷彿とさせる。アカトンボの仲間の中では比較的小柄で、水辺に近い

草むらで大人しくしているのをよく見かける。ヤゴの生育には植生の豊かな池や湿地が必要なので、祇園で本物の舞妓さんとのアカ

ネが共演することは、残念ながら実現しそうにない。

（写真・文）武藤将道、生物 2 年、野生動物研究会

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

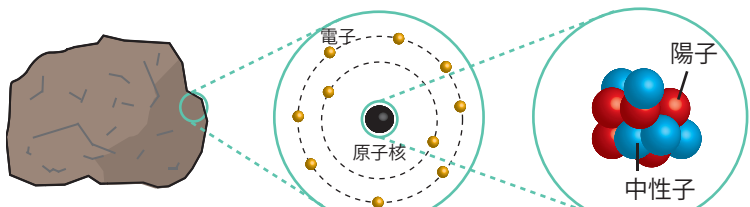
撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

撮影地＝宝篋山

原子・原子核の模式図



物質 → 原子 → 原子核

稀だ。今後、物理学では各分野の枠組みを超えた研究が必要になるのは確実である。同プログラムは、

類

手紙



コピーライター 倉宏さん

広告界で仕事を 30 年以上になりました。新卒でサントリーの宣伝部に就職できたのは、当時コピーライター専門職の採用があったからです。

大学では日本文学を専攻卒業論は万葉集でした。コピーライターはことばの仕事ですが、文学専攻が多いかというところでもありません。昨年からの集中講義「創造学群表

現学類」で講師をしていて、後輩、みなさんにとっての先輩には、数

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

新しいコミュニケーション創造を

全日本ジュニア、学生体重別

永瀬、小寺が優勝

講道館杯へ弾み

柔道



戦に。最後は永瀬が体落として技を奪い勝利。優勝を果たした。

20歳以下の柔道日本一を争う全日本ジュニア体重別選手権大会が9月8～9日、埼玉県立武道館（埼玉県上尾市）で開かれた。男子81キ級に永瀬貴規（体専1年）、90キ級に小林修輔（同）が出場し、永瀬が優勝、小林が2位に入った。

永瀬は今大会の予選に当たる関東ジュニア柔道体重別選手権大会でも優勝しており、今大会では全試合で高校生と対戦した。決勝の相手は小原拳哉（東海大相模高）。序盤に反則指導2つを受け、有効1つを相手に取られる。開始3分過ぎ、永瀬が組み際から大外刈りで有効を奪い、試合は延長

決勝戦では大町隆雄（大牟田高）と対戦。序盤に双方一ずつ反則指導が与えられ、延長戦に入る。その後、小林は相手の背負い投げを不意に受け、有効を奪われ試合に敗れた。

サッカー

12チーム中7位に

関東大学リーグ戦

第86回関東大学サッカーリーグ戦の後期日程が、9月15日から11月25日にかけて日立市民運動公園陸上競技場（日立市）などで行われている。後期日程5試合を終えて2勝3敗。前期日程を含めた総合成績は7勝8敗1引き分けの勝ち点22で、12チーム中7位と苦戦している。

早大に勝利し1位に 日本一へ好調なスタート

関東大学対抗戦

ラグビー

関東大学対抗戦が、9月17日から秩父宮ラグビー場（東京都港区）などで開催されている。本学は10月15日現在同率1位。悲願の日本一に向け、好調なスタートを切っている。

10月14日には早稲田大戦が行われ、雨空にも関わらず多くの観客がグラウンドに足を運んだ。前半は両校ともゴールライン直前まで攻めるが得点にはつながらず、0-0で折り返す。後半開始直後、ゴール前でのスクラムから山本浩輝（体専2年）がトライを決め、5点を先取。12分には5-7と逆転されるも、35分に相手の一瞬のミスをつき藤田幸一郎（社工3年）がトライし再びリードする。勢いに乗った本学は、38分42分と彦坂匡克（体専4年）が立て続けにトライを決め、26-7で勝利した。

先制トライを決めた山本は「後半、先制点がほしい場面で得点できてよかった。まだまだ試合が続くが、

で行われた。

女子1000メートル背泳ぎでは諸貫美英（体専2年）が1分1秒63という好成绩で見事2位に輝いた。また、女子400メートルメドレーリレーでは4分5秒29で2位になるなど健闘したが、男子は総合8位、女子は総合7位に終わった。

水球

背泳ぎで諸貫が2位 女子メドレーでも健闘

日本学生選手権

水泳競技



◆競技
第88回日本学生選手権水泳競技大会（競泳競技）が9月7～9日に東京辰巳国際水泳場（東京都江東区）

で行われている。10月16日現在、本学は暫定3位。

10月6～7日につくばファビオで第11戦と第12戦が行われ、多くの観客が訪れた。6日の大東文化大戦では、前半は本学のペースで始まったが、後半に逆転され、70-82で敗れた。

7日は明治大と対戦。第1ピリオドから明大のディフェンスに苦しむが、インサイドやアウトサイドからバフランスよく得点を重ね5点リードし前半終了。後半開始直後に本学が一口气に流れを引き込み、開始2分で砂川貴哉（体専4年）のゴール下からの得点と星

野拓海（同）の3Pシュートで点差を10点に引き離す。その後も3Pシュート、バスケットカウントや連続得点が効果的に決まった。明大を一切寄せ付けず、終盤はベンチメンバーで戦い、79-62で快勝した。（関連写真は12面）



大東文化大戦でシュートを決める本学選手

女子は4位、男子は5位

ハンド



関東学生連盟秋季リーグ

場で行われ、男子は5位、女子は4位の結果となった。

男子

リーグ前半は明治大、東海大、国際武道大に連勝し快調な滑り出し。その後

は、日本大と引き分け、日体大、早稲田大に敗北するなど不振が続く。その後法政大、中央大に大差で勝利するも、22-31で国士館大に敗れ、5勝1分3敗で第5位の成績を収めた。

◆女子
女子は5勝2敗で3位。1位の東京女子体育大、2位の早稲田大などに勝利するも、東海大、日本女子体育大に敗れた。敗因については「試合の流れをうばわれ、修正しきれずに60分がすぎた」とキャプテンの川保ゆかり（同）は話した。

11月のインカレについて、山田永子監督（体育系助教）は「選手一人ひとりが『勝負できる』を持っているが、試合中点数をとれていない時間がある。今後コンスタントに戦えるようにしたい」と話した。

個人賞では川保が優秀選手賞、加納明帆選手（同1年）が優秀新人賞に輝いた。

入り、女子は57キ級で武井嘉恵（同4年）が2位という成績を収めた。

高校生の柔道体重別日本一を決める、全日本学生柔道体重別選手権大会が9月29～30日に日本武道館（東京都千代田区）で開催された。本学からは20人の選手が出場し、男子は66キ級で小寺将史（体専4年）が優勝、81キ級で宇都宮光樹（同2年）が3位に

講師）は「武井は他の選手と違い、一般人試で入ってきた選手。そこから4年間、本場に地道に努力を重ねてきた。試合では自信さえも感じられたし、決勝も次につながる内容だった。指導者としても素晴らしいと思う。今後は講道館杯、グラインドスラム東京など大きな大会が続く。この大会を次のステップにしてほしい」と話した。

チームの目標である日本一に貢献できた」と語った。また、主将の内田啓太（同4年）は「勝って良かった。自分たちを信じてやり続けた結果、後半に粘れる精神力が上回れたことは本当にうれしい」と振り返った。

一方で今後の課題に関しては「当たりの激しさや精度をもっと高めていきたい」と語り、さらなる向上心を

戦目の日本体育大戦まで黒星が続く。しかし5戦目の明治大との対戦では3-2で勝利し、6校中5位という結果に終わった。

女子は1戦目で日本体育大に2-3で敗れるも、続く2戦目の専修大を相手に4-1で勝利。3戦目の法政大戦、4戦目の早稲田大戦ではともに2-3で惜敗した。しかし、5戦目の青山学院大に3-2で見事勝利し、6校中4位という結果になった。

吹田真士監督（体育系助教）は「優勝できなかったことは残念だが、東日本選手権や授業の開始などがありコンディションングの難しい中、けがなく終えられてよかった。今月19日から始まるインカレでは、選手たちに強い意志を持って戦ってほしい」と話した。



シュートを放つキャプテンの川保

個人賞ではキャプテンの伊東裕希（体専4年）が敢闘賞を受賞した。初戦の明大をはじめ、すべての試合

でチームをリードしたことが評価された。

が6得点を奪い8-1と圧倒した本学。しかし、次戦の流通経済大戦では後半立て続けに3失点し1-3と敗北。続く順天堂大戦、日本体育大戦も連敗した。パスがシュートにつながらない試合が続いたが、神奈川大戦では上村が全ての得点にからむ3アシスト。3-2で勝利し連敗を止めた。

一方、個人成績では赤崎が通算14得点で得点ランキング1位に、上村岬（同）がアシストランキング2位につけるなど、両者のタイ

トル獲得が期待される。後期の結果は以下の通り。▽筑波大8-1慶應大▽筑波大1-3流通経済大▽筑波大1-3順天堂大▽筑波大0-2日体大▽筑波大3-2神奈川大

早大戦でトライを決める本学選手

早大戦でトライを決める本学選手

早大戦でトライを決める本学選手

早大戦でトライを決める本学選手

早大戦でトライを決める本学選手

早大戦でトライを決める本学選手

第81回 日本学生陸上競技対校選手権大会

女子が総合4連覇

女子駅伝では大会新記録



陸上

◆駅伝
第18回関東女子駅伝対校選手権大会が9月30日に千葉ニュータウン(千葉県印西市)で行われた。本学は30・6㌔のコースを1時間38分26秒の大会新記録で総合優勝を果たし、8年ぶりに全日本大学女子駅伝対校選手権大会出場権を獲得した。また、6区間中3区間が区間賞という好成績を収めた。

◆国体
第67回国民体育大会(陸上競技)が10月5―9日まで岐阜メモリアルセンター長良川競技場(岐阜県岐阜市)で行われた。800㌔に出場した真下まなみ(体専3年)が2分5秒05で見事優勝を果たした。また、走り高跳びに出場した戸邊直人(同)が、2㌔21㌔で第2位という好成績を収めた。

◆対校選手権
第81回日本学生陸上競技対校選手権大会が9月9―12日に国立競技場(東京都新宿区)で行われた。本学では女子が総合優勝を果たし、今大会4連覇を達成した。男子も総合2位の成績を収めた。

分59秒64)▽1000㌔H・相馬絵里子(同3年)112位(13秒80)▽走り幅跳び・高橋直(体育1年)11位(4㌔10㌔)▽円盤投げ・仲田愛(体育2年)11位(4㌔10㌔)▽鉛球投げ・高橋直(体育1年)11位(54㌔22㌔)大会新記録日下望美(体専4年)112位(50㌔29㌔)▽4×100㌔リレー・筑波大113位(45秒99)

男子が2位獲得



◆秋季関東大学リーグ戦
秋季関東大学バレーボールリーグ戦が9月15日から10月14日にかけて、早稲田大学戸山キャンパス記念体育館(東京都新宿区)などで開催された。

男子は7勝2敗で2位、女子は6勝3敗で4位という結果で全日程を終えた。男子は1日目、見事な連携プレーを見せ、専修大に3―0で勝利するが、2日目は早稲田大に1―3で敗れた。だが、続く3日目は順天大に3―2で勝利して調子を取り戻すと、6日目の東京学芸大戦まで順調に白星を重ねた。7日目の中央大との対戦では2―1で惜敗。8日目の慶應義塾大戦、9日目の東海大戦では互いに譲らずシーソーゲームとなるも、それぞれ3―2で勝利した。

秋山央監督(体育系・助教)は「今季はこの大学も力が拮抗していたが、劣勢に立たされても粘り強く戦うことができた。今後はサーブとディフェンスを見直し、12月に行われる全日本インカレでの優勝を目指して練習を重ねたい」と話した。

関東甲信越大学体育大会

男女ともに優勝
個人でも2種目制す



体総合は20年ぶりに優勝した。男子個人総合でも佐野智樹(体専1年)が、女子個人総合では中嶋洋子(同2年)が優勝を果たした。

男子団体はあん馬でミスをしたが、その後は4年生の安定した演技で3年ぶりの優勝を果たした。団体にも出場した佐野は「先輩の勝ちたいという強い気持ちに応えられてよかった。優勝できて素直にうれしい」と語った。

女子個人の中嶋は、ゆかでミスを重ねてしまったが、その後は落ち着いた演技で個人総合優勝を果たした。種目別でも跳馬、段違い平行棒、平均台の3種目で優勝した。中嶋は「今までの練習の成果が出せるよう集中して臨んだ。ゆかで失敗したが、自分にとって

納得のいく演技ができた」と話した。体操部男子コーチの齋藤卓助教(体育系)は「今大会は強豪校が出場しており、非常に厳しい戦いだったが、全員で筑波らしい緊張した演技を行うことで勝てた。この経験を活かして次の大会でも優勝目指して頑張りたいと思う」と話した。

さん(学生生活課)は「本学生やOBOGの活躍を知ってほしいという機会となり、よかったと思う」と話した。

体操



第61回関東甲信越大学体育大会の体操競技が、9月5―6日に山梨県宮崎ヶ丘体育館(山梨県甲府市)で開かれた。本学からも多くの選手が出場し、男子団体総合は3年ぶりに、女子団体総合は20年ぶりに優勝した。

男子個人の中嶋は、ゆかでミスを重ねてしまったが、その後は落ち着いた演技で個人総合優勝を果たした。種目別でも跳馬、段違い平行棒、平均台の3種目で優勝した。中嶋は「今までの練習の成果が出せるよう集中して臨んだ。ゆかで失敗したが、自分にとって

と、新たな葛藤と向き合うことになる。いくら練習しても、思うような成果が出ない。不調な日々の中、他の競技に転向し

また分らない。それより今の私には必ず達しないといけない目標がある。来年7月にシカゴで行われる第10回世界ラート競技選手権大会だ。堀口選手と憧れの舞台に立ちたい。そのため

展示に見入る来場者

秋季関東大学リーグ戦

首位争い繰り広げる



野球

首都大学野球秋季リーグ戦が9月8日から、平塚球場(神奈川県平塚市)などで行われている。本学は10月18日現在、9勝5敗。開幕試合の東海大戦。第1回戦は中盤以降投手陣が粘らず、被安打19、15失点で大敗。しかし、第2回戦は一転、投手戦となる。先発の山田和也(体専3年)

が東海大打線を8回まで0点に抑え、打線も9回に勝ち越しに成功。山田は9回も抑え見事完封を果たした。第3回戦も延長の末、10回にサヨナラ勝ちし、勝ち点を獲得した。

続く明星大戦も勝ち点を挙げ、迎えた次節の日体大戦。第1回戦は、投打ともに精彩を欠き、1―7で敗れた。第2回戦は、1点ヒャインドで迎えた9回裏、

4番松浦昌平(同)の適時二塁打で同点になると、二者連続で四球を選び、一死満塁とする。このチャンスに片岡翔(同)が安打を放ち、サヨナラ勝ちを決めた。第3回戦も延長戦を制し、3節連続で勝ち点を得た。

帝京大戦。勝負は第3回戦までもつれた。その第3回戦では、9回に松浦の本塁打など終盤に追い上げを見せたが3―4で敗れ、今季初めて勝ち点を逃した。

最終節の大東大戦。第1回戦を1―2で落とすも、

第2回戦は山田の完封で勝利した。第3回戦も終盤に勝ち越し、接戦を制した。本学は全日程を終了したが、首位を争う東海大、帝京大はまだ試合を残している。リーグ戦は10月21日まで続く予定。

一(平成21年度附属視覚特別支援学校卒)が競泳男子100㌔平泳ぎで銀メダル、100㌔バタフライで銅メダルを獲得した。

その他にも山田拓朗(体専3年)ら多くの本学関係者が入賞を果たした。

2013年7月の世界選手権大会。その華麗な演技は、喝采の中心にあるのだろうか。(望月麗二比較文化学類)

秋山が金メダル

◆ロンドンパラリンピック
2012ロンドンパラリンピックが8月30日から9月9日の12日間行われた。本学関係者からは、競泳女子100㌔背泳ぎの秋山里

奈(平成17年度附属盲学校高等部卒)とゴールボールの若杉通(附属視覚特別支援学校高等部2年)が金メダルを獲得。木村敬

者が入賞を果たした。

先輩との誓い、胸に

回全日本学生ラート競技

き全日本ジュニア体操

ようと思ったことも度々

そんなある日。ふと訪

議なスポーツに遭遇す



選手権大会で入賞するなどの活躍を見せる。大学入学まで続けてきた体操競技の経験が、今の彼女の基盤だ。本学聴覚障害体育系・講師)も「体操の経験があるため」ラート特有の基本的な技術に慣れていた。世界で活躍できる選手になってほしい」と期待を寄せる。

両親の勧めで3歳から始めた体操競技。松浦は競技の奥深さに魅せられ日々練習に励んでいた。だが体操の楽しさに夢中になっていた中学1年の冬、その歩みは阻まれる。体操選手にとって致命的な手の負傷。医師に、もうスポーツはあきらめた方がよい、とも言われた。「競技生活か

ら1年も離れてしまった。大好きな体操競技ができなくて、焦りと苦しみていっばいだった」と当時を振り返る。その後

と、新たな葛藤と向き合うことになる。いくら練習しても、思うような成果が出ない。不調な日々の中、他の競技に転向し

また分らない。それより今の私には必ず達しないといけない目標がある。来年7月にシカゴで行われる第10回世界ラート競技選手権大会だ。堀口選手と憧れの舞台に立ちたい。そのため

日本ラート競技選手権を突破する必要がある。

ラート界期待の星
松浦佑希(体専2年)

と、新たな葛藤と向き合うことになる。いくら練習しても、思うような成果が出ない。不調な日々の中、他の競技に転向し

また分らない。それより今の私には必ず達しないといけない目標がある。来年7月にシカゴで行われる第10回世界ラート競技選手権大会だ。堀口選手と憧れの舞台に立ちたい。そのため

日本ラート競技選手権を突破する必要がある。



ラート界期待の星
松浦佑希(体専2年)

留学生の目

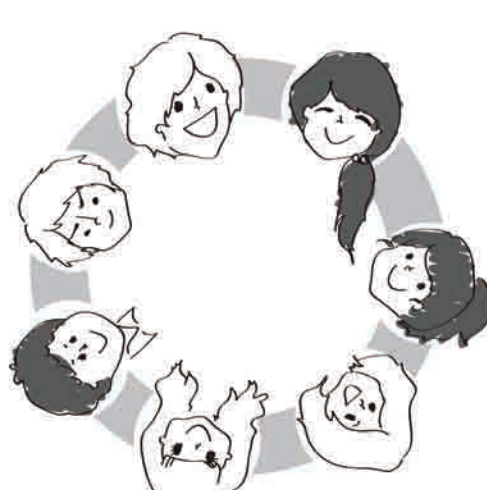
キム・イジン



最初、「留学生の目」という欄に何か書いてもらえませんか？」と頼まれた時に、最初思ったのは、「留学生の目」という名で何を求められているかでした。なぜでしょう、「留学生」という言葉は、よく考えてみると、そもそも私はなぜ韓国人、または、日本人にならなければならないのでしょうか。そこから疑うべきではないかと思うようになったのです。最近、韓国のニュー

ているように思うのです。私も一応「留学生」の中に含まれるわけですが、日本は私にとって外国ではありません。というのは、私は父が韓国人で母が日本人、つまり、ハーフです。それで、日本は母の国でありながら、自分の国でもあります。でも、国籍は韓国国籍で生まれ育ったのも韓国、日本語も外国語を習う時のように学びました。そうすると、あなたは韓国人なの日本人なのと言われているよく分かりません。

スで、「日本の原子力発電所の近くで取れた魚が奇形だったけど、それを韓国に輸出してしまっている」といった内容を見



たことがあります。敏感なところではあります。私が、私はそれについて、こが悪いのかという批判をするよりも、その先にみんなどうせ一緒に生きるんだです。

みんな運命共同体

留学生生活というのは、楽しい時もありますが、やはりつらいことも多いです。短く留学するのと、長々過して、とうとう自分も異質な存在だと感じて、気がふさいでしまつこともあります。ですが、それでも、同じことを経験しながら生きていくのです。そういうふうにして、自分が気づかなかったところで、似ている面を見つけて喜ぶ人、そういう人を留学生と呼ぶのではないのでしょうか。今日も、みんな運命共同体なんだ、自分に言い聞かせているのです。(比較文化学類 原文も日本語)

テーマは筑波協奏

◆院生プレゼンバトル
大学院生が自身の研究をプレゼンテーションする力を競う「院生プレゼンバトル」が8日、大学会館ホールで行われた。



院生プレゼンバトルの授賞式の様子

◆自身の研究をプレゼン
総合1位を獲得した池松「ミラクリン」とよばれる。

会場を訪れていた本学の女子学生は「プレゼンターの聴衆をひきつける工夫がすごかった。自分もこのように話し方ができるようになりたい」と話した。

◆つくばからアイデアを発信
つくば市でアートスクールを主宰する現代美術

◆バイオエカフェ
科学に関する話題を、コーヒーなどの飲み物を片手に気軽に話す「バイオエカフェ」

◆特別講演会「礼法はいかに伝えられたか」
綿抜豊昭教授(図情メ系)による特別講演会「礼法はいかに伝えられたか」が8日に中央図書館集会所で開催された。

◆近代の「礼法」に迫る
講演会の前半は同教授で書いただけでは分からない部分があり、それを説明する挿絵や錦絵、すくなくといった視覚資料が重要な役割を担っていた」と綿抜教授は話した。



◆JAXA講演会
独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の遠藤祐希子さん(宇宙環境利用センター・平成17年度

◆TEDxTTSUKUBA
つくば市周辺で活躍する5人が、それぞれの活動について英語でプレゼンした。アートはクリエイティブな社会的・文化的相互作

◆「いかに生きるか」を語る
知らない人が政治を作っている、といつことを授業で知って衝撃を受けた。専門

◆実際の映像があり、興味が湧いた。もっと深い話も聞きたくなったと話した。

講演では、江戸時代の法はいかにして伝えられたかの環として行われた。特別展は10月1-31日にかけて中央図書館新館1階の貴重書展示室で開かれている。ただし27、28日は閉室

講演会の前半は同教授で書いただけでは分からない部分があり、それを説明する挿絵や錦絵、すくなくといった視覚資料が重要な役割を担っていた」と綿抜教授は話した。

「いかに生きるか」を語る
知らない人が政治を作っている、といつことを授業で知って衝撃を受けた。専門

◆JAXA講演会
独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の遠藤祐希子さん(宇宙環境利用センター・平成17年度

◆TEDxTTSUKUBA
つくば市周辺で活躍する5人が、それぞれの活動について英語でプレゼンした。アートはクリエイティブな社会的・文化的相互作

◆「いかに生きるか」を語る
知らない人が政治を作っている、といつことを授業で知って衝撃を受けた。専門

◆実際の映像があり、興味が湧いた。もっと深い話も聞きたくなったと話した。

講演では、江戸時代の法はいかにして伝えられたかの環として行われた。特別展は10月1-31日にかけて中央図書館新館1階の貴重書展示室で開かれている。ただし27、28日は閉室

◆特別講演会「礼法はいかに伝えられたか」
綿抜豊昭教授(図情メ系)による特別講演会「礼法はいかに伝えられたか」が8日に中央図書館集会所で開催された。

◆近代の「礼法」に迫る
講演会の前半は同教授で書いただけでは分からない部分があり、それを説明する挿絵や錦絵、すくなくといった視覚資料が重要な役割を担っていた」と綿抜教授は話した。

◆実際の映像があり、興味が湧いた。もっと深い話も聞きたくなったと話した。

講演では、江戸時代の法はいかにして伝えられたかの環として行われた。特別展は10月1-31日にかけて中央図書館新館1階の貴重書展示室で開かれている。ただし27、28日は閉室

講演会の前半は同教授で書いただけでは分からない部分があり、それを説明する挿絵や錦絵、すくなくといった視覚資料が重要な役割を担っていた」と綿抜教授は話した。

講演では、江戸時代の法はいかにして伝えられたかの環として行われた。特別展は10月1-31日にかけて中央図書館新館1階の貴重書展示室で開かれている。ただし27、28日は閉室



た」と話した。

ヒーローを演じた小林篤史さん（心理1年）は「6日の公演が中止になって残念だったが、1日だけでもやれてよかった。子供の笑顔も見ることでできて、本当に楽しかった」と笑顔で語った。

第38回学園祭

雨に負けず、熱気に包まれた3日間

◆子ども劇
学園祭実行委員会をジャ
グリングサークルShee
P による子ども劇が7日、
松美池ステージで行われ
た。午前中まで雨天だった
ため客席も濡れていたが、
防水シートを観客に配布。
多くの親子連れが訪れた。
同企画は、6日が雨天によ
り中止になったため7日だ
けの単日開催となった。
ストーリーはなまけもの
の主人公が、修行をして悪
者の魔王に打ち勝つという
内容。客席の子供たちがス
テージに上がって主人公と
共に修行をする一幕もあ
り、子供たちは約40分間の
劇を楽しんだ。

ステージ上がった男の勝って面白かった。なまけ子は「最後にヒーローがものにならなくないと思っ



ステージの演技に見入る来場者



ステージの演技に見入る来場者



熱帯魚の説明をするメンバー

◆海洋研究会
海洋研究会による「つくばアクアマリン水族館」が1B棟202で開かれた。今回展示された熱帯魚は後日海に返すという条件で、海洋研究会が直接海で捕まえたもの。ハナミカサゴ、ハタタダイなど10種類以上の熱帯魚が展示され、学内外から多くの来場者が訪れた。水族館の出口には好きな魚の名前にシールをはる。つくば市から会場に子供と訪れた明石秀美さんは「見たことのない魚を見ることができてよかった。子供もこの魚が欲しいというくらい喜んでた」と語った。

表者が持ち時間5分の中で1冊の本を紹介し、聴衆が最も読みたくなった本を投票する書評合戦。

今回のバトルでは、4クラブ16人の予選を勝ち抜いた4人の学生が発表。それぞれが本のあすじやおすすめの見方、学んだことなどを口頭で伝え、聴衆を本の世界へと引き込んで

◆筑波ヒリオバトル
おすすめの本を紹介し合う企画「筑波ヒリオバトルin雙峰祭2012」が10月6日、中央図書館集芸

したバトルの末、ユーモアのある語りで平沢進著の「SP12」を紹介した、萬木俊哉さん（比文4年）が優勝した。

聴衆を本の世界へ引き込む

室にて行われた。当初はUNITEDステージで行われる予定だったが、降雨により、場所を夢え時間を遅らせての開催となった。

「ヒリオバトルとは、発

萬木さんは、10月21日に東京都内で行われる全国大会「ヒリオバトル首都決戦2012」に、茨城県地区代表として出場する。（関

連写真12面）

◆芸術祭
芸術専門学群と大学院
芸術専攻の学生が主催する
「芸術祭」が体芸エリアで
開催された。

今年のテーマは「デパー
委員会副委員長の大脇聡史
や文章を書いてもらい、そ
の紙を連ね掲示すること
で、教室そのものを「作品
とした。

副店長こと芸術祭実行

◆松美記念
社会学類の学生が主催する「松美記念」が7日に開催された。本学第一エリアにある松美池の中をさまざまな趣向をこらして走り、その着順を競うイベントだ。

1年生による新人戦と2、3年生を中心とする本戦の2つのレースがある。

新人戦の選手は白いTシャツにそれぞれのツイッターのアカウント名を書いて池の中を走った。2年生を中心に選手が構成された本戦では、学生が現在話題になっている有名人にふんして登場。観客の歓声を浴びた。ポートに乗った2人3脚をして走るなどさまざまなハンデがあり、会場の雰囲気も熱くした。

代表の矢尾板俊平さん（社会学3年）は「出走馬から裏方まで学年や性別を問わずにたくさんの方がこの企画に協力してくれました。どうもありがとうございます」と感謝を述べた。

松美池の中を爆走

が構成された本戦で、学生が現在話題になった有名人にふんして登場。観客の歓声を浴びた。ポートに乗った2人3脚をして走るなどさまざまなハンデがあり、会場の雰囲気を知った。

代表の矢尾板俊平さん（社学3年）は「出走馬から裏方まで学年や性別を問わずにたくさんの方がこの企画に協力してくれました。どうもありがとうございました」と感謝を述べた。

テーマは「デパート」

ト」。芸術祭実行委員会委員長を店長とし、作品販売や似顔絵作成などを行った。

このうち芸術祭メイン企画「しりとりワークシヨップ」では、来場者に

しのとを依頼。紙に言葉



ライブアートを披露する学生

園芸クラブ

したりして、1時間ほど活動する。自分のペースで休憩を取ることで、のんびり活動できるのが園芸クラブの特徴。作業に集まるのは、

ンドケーキを作った。収穫した野菜をみながら食べるのが一番楽しい。代表の山宮大幹さん（生

物3年）は、楽しみに話す。今年の学園祭でもかぼちゃやサツマイモで作ったパウンドケーキなどを販売したという。

さまざまの野菜が顔をそろえる一の矢共用棟前の畑。色とりどりの花が美しい平砂共用棟前の花壇。本学生なら一度は目にすることがあるだろう。これらがあるのは、園芸クラブのおかげだ。

設立のきっかけは、かつて、野菜を安くたくさん食べたいという学生がいたから。設立当初は平砂に当時あった畑だけで野菜を育てていたという。



いつも10人ほどだという。好きな時に来て作業できるのもこのサークルの特徴だ。

収穫した野菜は、部員宅で調理し、みんなで食べる。最近はおぼろ菜を収穫し、パンフキンパウ



収穫した野菜を皆で楽しむ

モなど。花は、パンジーやコスモスなど。育てる野菜や花は、土曜日のミーツイングのときに決める。

もちろん苦勞もある。ときには猫などの動物に荒らされ、畑の作物が台なしになることも。さら

どを話し合う。少しでも野菜や花に興味があれば、園芸の知識が身に付く園芸クラブのミーティングに一度顔を出してみたいかがだろうか。(小串尚也＝情報メディア創成学類)

彼らの活動は、畑や花壇の中だけにとどまらない。夏には、採れた野菜でバーベキューをし、冬には、クリスマスパーティをするなどと、とてもバラエティに富んでいる。また、10月末には育てたかぼちゃで、ハロウィンパーティーを行う予定だ。

に、毎年、一の矢の畑の近くに桃約1500個が、誰かに盗まれ続けている。取られた跡から動物ではなく、人が道具を使って勝手に収獲しているという。「大切に育てた桃。やめて欲しい」というのは部員一同の思いだ。



後夜祭で打ち上げられた花火

スターバンドや筑波太
援部WINSなどが参
加し、会場は熱気に包
まれた。続いて、「I
MAGINE THE
FUTURE」未来を
想え」の合唱なども行
われた。

恒例の豊峰祭クラン
プリでは、海洋研究会
の「アクアマリン筑波
水族館」がグランプリ
を勝ち取った。副賞と
して、富士急ハイラン
ドペア2日間が贈られ
た。また、アカデミ

学園祭の最後を飾る

つづくバグの「大昆虫博く日本の虫大集合」がベストセラー賞にはのうりんむらの「のうりんむら」がグッドバフォーマンス賞には筑波大学マシジャンズクラブの「テーブルマジックショー」がそれぞれ輝いた。

筑波お笑いライブ2012では、お笑い芸人のラブレターズとキングオブコメディが会場を笑いで埋め尽くした。

Who's Who?

ロンドンパラリピック 50m自由形 4位入賞

山田 拓朗 さん (体専3年)



プールを背に静かな微笑みを浮かべる山田選手

「スタジアムに入った瞬間、鳥肌が立った。いよいよパラリンピックが始まるんだと感じた。そう語るのは山田拓朗(体専3年)さん。8月のロンドンパラリンピック開会式で旗手の木村敬一選手(平成20年度附属視覚特別支援学校卒)のサポート役を務め、自身も50m自由形で4位に入賞した。

サポート役を任されたのは大会前日。旗手の木村選手が同じ水泳競技であることから白羽の矢が立った。全員の彼の背中を立ち、声で案内をしながらか堂々の行進。大舞台にも関わらず緊張した様子を見せず、会場の雰囲気をもっと楽しんでいた。日本選手団の「顔」を見事に務めた。

山田選手は左腕を持たない。左先天性前腕欠損のために生まれつき左腕のひじから先が無く、泳ぐときは右腕を中心に身体全体を使う。「左手がある、という感覚を僕は知らない」と話す一方で、「自分が活躍することで障害者スポーツの発展や振興に貢献していきたい」と語る。自身の障害とも静かに向き合いつつ、冷静で落ち着いた雰囲気漂う選手だ。

それでも試合前は緊張し、プレッシャーを感じることもあるという。しかしその緊張が彼の調子を引き上げる。緊張すると身体が固まる感じが、何もせずとも熱くなって汗が湧いてく

パラリンピックで堂々の行進
集中力武器に世界で戦う

その感覚が気持ちいいし、緊張している方がいい記録が出る」と語る。13歳という当時最年少の若さでアテネパラリンピックに出場してから、今回で3度目。泳いでいる時は歓声も耳に入らない。目の前のレースへの集中力こそ、彼の真骨頂だ。

水泳を始めたのは3歳の頃。水嫌いを心配した両親が、水に落ちた時に自分の命は守れるようにと、スイミングスクールに通わせたのがきっかけ。めきめきと頭角を現し、小学校入学前にクロール、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの全てを泳げるようになった。

パラリンピックを意識したのは、シドニーパラリンピックの競泳男子100m背泳ぎで金メダルを獲得した酒井善和選手にメダルを見てもらったことがきっかけ。「いつか自分も」という気持ちが生まれた。2006年の世界選手権で銅メダルを獲得した時に、パラリンピックでのメダル獲得への思いは一層強くなった。

本学に進学し、水泳部に入ったことで環境が大きく変わった。水泳部の活動は選手主体で、他選手の頑張りやアドバイスが何よりの刺激になる。「何か大きなことを成し遂げるためには変化が大切。新しい環境で何かにチャレンジする」とい。新しい発見がそこにあるかもしれない。他選手は全員健全だが、周囲との差を感じたことは無いという。むしろ「障害を持った選手を見てみると、大きな可能性や、限界の無さを感じさせられる」と語る。来年の世界選手権、その先のリオパラリンピックに向け、今日も練習に励む。

今回は惜しくもメダルを逃した。だが、パラリンピックでのメダル獲得という目標は続く。練習がつらくても思ったような結果が出なくても、メダル獲得への思いが彼を支える。「パラリンピックでメダルを取るという思いだけは、絶対に叶えたい」。静かに燃える闘志が、彼の胸には宿っている。

(原啓一郎社会学類)

オリエンテーリング大会開催



秋風の中、学内を駆け抜ける参加者

5面へ

男子関東バスケットリーグ戦



多くの観客が訪れ、会場は明るい青に染まった

8面へ

第38回学園祭「筑波協奏」



学園祭が行われ、約3万人が訪れた

10・11面へ

ビブリオバトル決勝戦



学園祭のビブリオバトルで本を紹介するプレゼンター

11面へ

学生生活

スポーツ

学園祭

学園祭

編集後記

気温の土下が激しい今日この頃、編集期間中は、アナウンサー・I、草加の町娘・Nが風邪に倒れました。そんな中、突如聞こえるF先生の大爆笑。何事かと思えば、手にはブルーバードKの癒し系記事が。つられてアウトラボイHまで爆笑し始める始末で、どんなに笑ったのか、Mのセンスが光るミニ特集は必見です！(編集長 松本果奈)

次号は

12月3日(月)

発行予定です